



TOHOKU
UNIVERSITY

NEWS LETTER



TOHOKU UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF DENTISTRY

2018.12

Vol.
18

第3回東北大学病院歯科部門 地域連携懇談会が開催されました



東北大学病院 総括副院長

高橋 哲

2018年11月26日に東北大学病院歯科部門と東北大学大学院歯学研究科の主催、宮城県歯科医師会と仙台歯科医師会の共催で、第3回東北大学病院歯科部門地域連携懇談会・情報交換会が開催されました。今回で3回目となるこの会は、地域歯科医療を担う歯科医院の先生方と東北大学病院の歯科医師が、顔の見える密接な病診連携体制を更に推進することを目的に、2016年から毎年開催されています。

以前の懇談会では、会場に歯学研究科のB1講義室を用いていましたが、参加者が回を重ねるごとに増えていることから、今回から星陵会館2階にある星陵オーデトリウム講堂を用いての開催となりました。夕刻7時からの開催であったにも関わらず、100名を超える地域と大学の歯科医師が参加し、盛会となりました(写真1)。本会では、私および佐々木啓一歯学研究科長の挨拶の後、宮城県歯科医師会の細谷仁憲会長からお言葉をいただき、議事へと移りました。私が議長を務め、ワーキンググループの先生方を中心に地域歯科医院と東北大学病院歯科部門の連携方法の具体案や今後の連携推進の方策について討論を進めた後に、矯正歯科の溝口到教授、歯科麻酔疼痛管理科の水田健太郎教授から、東北大学病院の最先端歯科医療についてミニレクチャがありました。



▲(写真1)懇談会後の集合写真

情報交換会では仙台歯科医師会の駒形守俊会長ならびに宮城県歯科医師会の泉谷信博副会長からお言葉をいただき、次に歯科部門の連携に大きく貢献していただいた先生を代表して、佐藤光弘先生(本町歯科医院)、南館公雄先生(南館歯科医院)、阿部洋一郎先生(長命ヶ丘グリーン歯科クリニック)に感謝状を進呈しました。続いて、各先生方が個別に地域歯科医療や大学病院歯科部門の情報を交換すると共に、杯を交わしながら親睦を深め、参加者にとって有意義な時間を過ごしました(写真2)。ご参加いただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

「患者さんに優しい医療」と「先進医療」との調和を目指した病院を掲げている、東北地方・宮城県の基幹病院である東北大学病院は、各地域の医療機関や開業医の先生方との連携を最重要事項の一つと位置付けて取り組んでいます。東北大学病院歯科部門では、本会の議論を基とした新たな地域医療連携体制を大きく推進していきたいと考えています。



▲(写真2)大いに盛り上がった情報交換会

INDEX

- p1 ・巻頭言／第3回東北大学病院歯科部門
地域連携懇談会が開催されました
- p2 ・若手研究者インタビュー／安彦友希助教
部活動紹介
- p3 ・新任教授紹介／溝口到教授
・PRESS RELEASE
「骨の再生に適した環境を作り出す
移植用間葉系幹細胞の調整法」
- p4 ・各種おしらせ

口腔は食の入口～歯科と栄養学の懸け橋を目指して～

口腔生化学分野 助教

安彦 友希



平成17年 仙台白百合女子大学人間学部 卒業
 平成17年 東北大学大学院歯学研究科修士課程 入学
 平成19年 国立長寿医療センター研究所 流動研究員
 平成19年 東北大学大学院歯学研究科博士課程 入学
 平成23年 愛知学院大学歯学部 助教
 平成26年 東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター 助教
 平成28年 東北大学大学院歯学研究科口腔生化学分野 助教

—口腔生化学分野のご紹介をお願いします。

口腔生化学分野は英語表記ではOral Ecology and Biochemistryとなります。口腔は宿主(ヒト)とパラサイト(微生物)が共生する生態系から成り立っているとの考えから、高橋信博教授が考案したものです。私どもの研究室では、口腔健康の維持・増進に貢献すべく、世界有数の嫌気実験システムを基盤に、分子生物学やオミックス解析などの最先端の研究手法を組み合わせ、口腔バイオフィームに棲息する各種細菌(オーラル・マイクロバイーム)の生化学的・生態学的研究を行っています。近年では、特定機能性食品や希少糖などの「食」と口腔細菌に関連する研究や、パラサイトとの類似が指摘されている癌細胞の代謝研究も行っています。

—現在、取り組んでいる研究について教えてください。

管理栄養士という特色を生かし、食べ物と口腔細菌や口腔に与える影

響について研究しています。身体のことを考えて食事や食品の選択をしていると思いますが、その食品が口腔に与える影響についてはあまり関心が持たれていないような気がします。食品の入口である口腔のことも考慮した食品の選択や食べ方について発信していきたいと思っています。

—管理栄養士である先生が、なぜ東北大学大学院歯学研究科へ進まれたのでしょうか。

大学時代、抗酸化機能を持つ食品の開発をテーマに卒業研究に取り組んでいました。その研究室の教授が東北大学薬学部から赴任された先生で、研究に対する考え方や人柄がとても尊敬できたので東北大学に興味を持ちました。進学を考えていたため歯学研究科の募集要項を読んだところ、機能性食品の解析をしている研究室を発見し、それが現在在籍する口腔生化学分野との出会いでした。入試説明会で高橋信博教授に「ヒトの消化器は一本の管で出来ていて“口腔は食の入口”。管理栄養士の方が口腔について学ぶことはとても重要なこと。」と説かれ、ここで研究したいと思ったことを今も鮮明に覚えています。その後、修士課程の2期生として入学しました。

—先生が感じる歯学研究科の魅力とは。

歯学研究科に来て「繋がり」の強さを感じました。先輩、後輩、同級生、部活、出身地…と縦にも横にも繋がりがあって、誰が何回生かということもだいたい知っていることに驚きました。かといって内部だけで何かをするのではなく、修士課程を設けたり、他大学や異分野との連携も盛んに行い歯学の領域を拡げています。近年では留学生も多くなり、歯学研究科の繋がりは“ボーダーレス”まさに門戸開放を体現しており魅力だと思います。

—今後の抱負をお願いします。

本年4月、日本老年歯科医学会から、これからの歯科医師は咀嚼機能を考慮した栄養指導の任も負うという旨の声明が発表されました。歯科医師にも栄養学の知識が必要となることが予想されることから、今年度より学部3年生を対象に栄養学の基礎を学ぶ講義を本格的に始めました。教育面でも尽力していきたいです。

部活動紹介

全日本歯学生総合体育大会(以下、オールデンタル)は、全国の歯学部生が参加する歯学部生にとっての一大イベントです。また今年で第50回目を迎える由緒ある大会でもあります。今年の夏期部門は7月30日から8月10日に開催され、本歯学部からは卓球部と水泳部が個人優勝を果たしました。

水泳部 主将 村上 光

今夏、長野で行われたオールデンタルにおいて水泳部は200m背泳ぎ優勝の村上光[3年]と100m・200m平泳ぎ優勝の高橋侑大[3年]を筆頭に各選手が力泳し、男子総合第3位、男女総合第6位という成績をおさめることができました。男子5名女子3名という少人数ではありますが、部長の江草宏教授をはじめ各大学の水泳部からも「少数精鋭」と評していただいております。普段は医学部水泳部の一員としてレベルの高い環境で練習し各々が体力を向上させ技術を磨いています。週3回2時間程度という短い練習時間ではありますが、医学部の仲間たちと声を出し合いながら成長できる環境こそが我々の強さの秘訣です。来年度も素晴らしい報告ができるよう、鍛錬してまいります。



▲右:100m,200m平泳ぎ優勝 高橋侑大
左:200m背泳ぎ優勝 村上光

卓球部 主将 逢坂 結夏

私たち東北大学歯学部卓球部は部員18名で週3回星陵体育館にて活動しています。今年はオールデンタル主管校であったため、事前の準備や当日の運営に追われ卓球だけに集中すればよかった例年とは比べ物にならないほどの忙しさでしたが、顧問の先生、OBOGの先生方の協力もありオールデンタルを成功させることができました。さらに、この仙台の地で個人戦男子シングルス[西谷元一[4年]]、個人戦男子ダブルス[西谷元一[4年]・山岸正人[4年]ペア]で優勝、女子団体、男女総合で準優勝という成績を修めることができました。来年のオールデンタルでは個人戦のみならず団体戦でも優勝することを目標に日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。



▲前列左から2番目:個人戦男子ダブルス優勝 山岸正人
前列左から3番目:個人戦男子ダブルス優勝・個人戦男子シングルス優勝 西谷元一

NEWS

2018 8D 6S6S6S6S
2018

4g

00000
00000

6060

Notch

M000PMh

iPS

4000

JSPS

NRC

2018 10D 236

NHK WORLD Medical Frontiers

M000

200

2018 11D 30 4000H

70sf

G000000

0000000

2018 11D 150

15s

PSA

EtS6H*60000

00000

K000000

2018 11D 8000

0000

30-31S

12D 1100 P 0	G 2
12D 1400 0 0	(00000)
1D 1900 0 0	00000
2D 200 0 00300 0 0	0000g
2D 400 D 0	R 30S
2D 1100 D 0	00000 20
2D 2500 D 002600 P 0	000000
3D 1800 D 0	0000000
3D 2700 0 0	G 0000
4D 400 0 0	0000000000
4D 500 0 0	0000

(R 300 6DIR 300 12D)

0	11D	0	H	0	000
0	6D	0	x	0	0
0	9D	0	0	0	0000
0	12D	0	0	0	000000000000000000
0	9D	0	G5	0	0000
80	8D	0	0	0	000000000000000000
0	6D	0	0	0	0000
0	7D	0	0	0	000000000000000000
0	9D	0	0	0	0000
0	9D	0	0	0	0000

ep

30 11D 0000000000000000

h000

30S

18	GyE	M 0000	D1
	000	400	D4
	000	000	D2
	0000	0000	D4
	Venkata Sureshy V	0000	D4
000	400	D1	
38	000	400	D4
	000	6000	D3
	000	00000	D4
	000	00000	D4

h30S

2018 7D 310 8D 10000

20180

h00

0000000000

0000000

000000

000000

000000

000000

CAD/CAM

\$00 0000000000000000

0 0g 000000000000000000000000

Facebook

000000000000000000000000w 00

000000000000000000000000Facebook

srCC00M000

0000000000

0000000000

@Tohoku.University.School.of.Dentistry

QR

Facebook

NEWSLETTER

NEWSLETTER

http://www.dent.tohoku.ac.jp/enq/news18/

IR

980-8575 8800 4-1

Tel: 022-717-8244 Fax: 022-717-8279

E-mail: newsletter@dent.tohoku.ac.jp

http://www.dent.tohoku.ac.jp/